

#### 4. 環境管理活動

富士工場では、環境方針に基づき省エネや廃棄物の削減及び大気、水質汚染防止に取り組んでいます。省エネ、廃棄物の削減は環境ISOシステムの中で部署毎に目標設定し削減に努力しています。下記に主な活動内容を示します。

##### 1) 環境保全活動組織と環境教育

###### (1) 環境管理推進組織

富士工場の環境マネジメントシステムでは常駐協力会社を含めた全ての部門及び階層の役割、責任、権限を明確に定めています。工場長は組織を牽引し、教育・訓練で従業員の力量を確実なものにするために必要な環境を整備すると共に、必要な資源（人・技能・技術・資金）を準備し、推進しています。

環境管理に関する意思決定は『工場会議』で行い、その下部組織として『省エネ分科会』が更なる省エネ実現を目指しています。

###### (2) 環境教育

当工場では環境マネジメントシステムの周知と自覚の徹底を図るため、全ての従業員を対象に部署毎に教育・訓練計画を作成し、その計画に則り教育・訓練を実施しています。また各種講習会への参加も積極的に進め、資格取得のサポートを行っています。主たる資格の取得者数を下表に記載しましたが、各種資格の取得数は着実に増加しています。

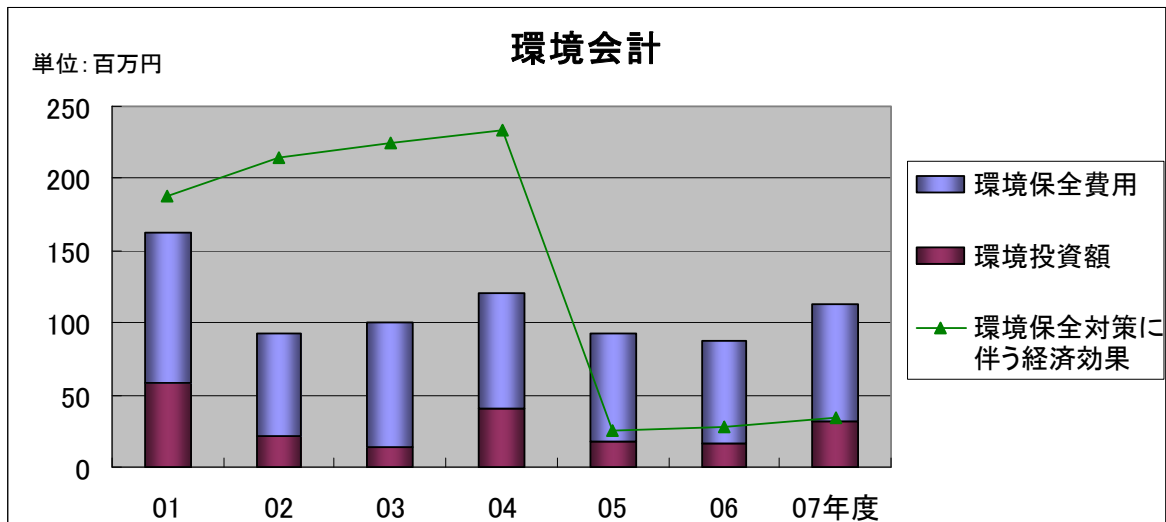
主要資格取得者一覧 2008年4月現在	
・公害防止管理者 大気1種：4名 大気3種：2名 水質1種：8名 ・エネルギー管理士：6名	・薬剤師：2名 ・危険物取扱者（※協力会社含む） 甲種：56名 乙種：48名 ・高圧ガス製造保安責任者 乙種化学：43名 乙種機械：12名

## 2) 環境会計

富士工場は、2004年度までは環境投資額・環境保全費用に対し大きな経済効果を上げてきました。これは2000年に導入したコージェネレーションシステム(以下CGS)による省エネ効果が大きな要因となりました。

2005年度以降は、CGS導入後5年が経過した為、その経済効果を「環境保全対策に伴う経済効果」に計上していませんが、実質的には、例年同様の経済効果を得ています。今後も環境にやさしい設備の導入、そして、設備の効率的な運転に努めます。

※「環境保全投資」、「環境保全費用」とは環境負荷を抑制するためのコスト、リサイクル、管理活動のコストなどです。「環境保全対策に伴う経済効果」は省エネによる削減費用、リサイクルに伴う廃棄物処理費の削減、原材料削減費用等を集計したものです。



## 3) グリーン購入

事務用品については、購買システムにグリーン製品購入管理を組み込み、可能な範囲でエコ製品を優先購入し、環境負荷低減に努めています。2007年度のグリーン購入率は文具で91%、文具以外でも86%と、高い比率を維持しています。

富士工場グリーン購入率推移

	2005年度		2006年度		2007年度		対前年比較	
	文具	文具以外	文具	文具以外	文具	文具以外	文具	文具以外
富士工場 購入品目数	47	22	32	27	32	29	±0	+2
グリーン製品購入数	44	20	29	25	29	25	±0	±0
グリーン製品購入率	94%	91%	91%	93%	91%	86%	±0%	-7%

## 4) 物流環境負荷の低減

製品出荷については、混載トラック便による共同配送、トラック輸送から鉄道・船輸送への代替(モーダルシフト)などの輸送効率化による炭酸ガス発生量の抑制を計っています。また、輸送途中での事故を想定し「イエローカード」を作成して、運転手への事故発生時の応急処置、連絡方法等の訓練・教育・周知を実施しています。